

KONTECHS TIMES

COMPANY NEWSLETTER

株式会社コンテックス



見学させて頂いた会社様の 環境整備実績表

取組みの実績写真がスプレッド
シートにアップされています。

場所	実績	場所	実績
机	https://drive.g	窓①	https://
階段	休	神棚・ゴミ	休
窓①	休	神棚・ゴミ	休
待てデー	https://drive.g	車両点検	車両点
レ・流し	https://drive.g	神棚・ゴミ	https://
階段	https://drive.g	神棚・ゴミ	https://
更衣室	https://drive.g	神棚・ゴミ	https://



ニュースレター限定 社長コラム

『アウトプットし続けて変化する』

代表取締役 近藤 千奈美

ガス販売を中心に複数の事業を営む会社様の見学会に参加しました。徹底的な環境整備をやり続けて会社が大きく変化し、結果として業績が向上したとのこと。

環境整備実績表は、各自の取り組み状況を会社支給のスマホで自撮し、写真を Google SpreadSheet の実績表にアップすることで報告されていました。

「同じ写真を使い回している社員がいた」と社長様が笑いながら教えてくださいました。どうしてわかったかを訊ねると「そういうのは、なんか匂うんだよね」と。

私たちグループを引率して下さった社員さんによると、「私は入社から

8年目ですが、入社当時と今では会社は別の会社のように変わりました。残業も昔は夜の11時までなんてザラでしたが、今は7時には上がれます。粗利も新人が月間200万まで出せるようになりました。環境整備をやり続けて今があると実感しています。」

つい安易に、業績向上の結果ばかりに目が行きがちですが、実はこうした地味なアウトプットを全社でやり続けること、つまり、全員がアウトプットし続けて会社を変え、業績を変え続けることがすごい結果の最大の理由です。

今日から、今から、自分から、アウトプットしていきます。



翻訳Q&A!



Q: 昔、授業で“will” と “be going to” は置き換えが可能だと習いました。テストでは「will = () () ()」という穴埋め問題があったと記憶していますが、これって本当に正しいですか？

A: 私も中学生の頃機械的に覚えていました。実を言うとこれは常に正しいわけではありません。

“I will have a farewell party for him.”と“I'm going to have a farewell party for him.”

“I will have a farewell party for him.”

⇒瞬間的に彼のさよならパーティーを開くことを思いついた。

“I'm going to have a farewell party for him.”

⇒既に彼のさよならパーティーを計画していて、実行に移すのみ。

つまり、“will” は「その場でしようと決めた（予め決めていなかった）未来」を話す時に使うのに対して “be going to” は、話している時点では「既に決まっている（予定している）未来」を話す時に使います。

別の例を挙げます。

Will you marry me?（結婚してくれる？）は、英語のプロポーズの決まり文句ですが、相手の意思を聞いているので Are you going to marry me? とは普通言いません。

なお次のように予想を行う場合は“will” と “be going to”は同様に使うことができます。

I think it will rain tomorrow. = I think it is going to rain tomorrow.（明日は雨が降ると思います。）

状況をちょっと考えればわかる気がしますが、会話でとっさに使うとなると、使い分けはやっぱり難しいですね。

HP にバックナンバーが掲載されています♪

『地震』



技術者の呟き

エンジニアリング事業部・ルオン

先日、夜 11 時ごろ、私が寝ている時にスマホが「地震です、地震です」と鳴りました。その直後、地震が発生し、びっくりしました。

今回は 10 年ぶりの震度 5 だったそうです。

地震の影響で多くの電車が停止し、多くの場所で停電や断水が発生しました。

地震が起こるたびに、人々の生活は影響を受けます。

過去に多くの大地震が発生し、多くの犠牲者と重大な経

済的損失を引き起こしました。日本は地震大国であり、地震が起こらない場所はないと言えます。地震は避けられない自然災害で、損害を最小限に抑える対策がたくさんあります。振動を吸収できる軽量素材で家を建てたり、自治体や学校では避難方法や避難場所を教えたりします。将来的には、科学技術の発展により、正確に予測できるようになることを願っています。

災害を経験すると、日本の復興力に驚かされます。しかし、別の角度から見て、地震と火山が多い国、日本には有名な温泉が沢山あります。良いことも悪いことも含め、「地震」は日本の特徴の一つになっていると思います。



社員の呟き

コンテンツサービス事業部・山田



『予防接種』

今月の担当になりました山田です！

コロナワクチンの 2 回目の接種が終わりました。幸い、注射した腕が数日間少々腫れていたくらいで発熱や体調不良はありませんでした。（私は高齢者なので若い人ほど副作用が強く出ませんでした。）

しかし、2 回目の接種に先立って酷い腰痛が発症し約 10 年振りに医者のお世話になりました。もし通常の出社勤務であれば 1 週間くらいは休まざるを得ない状態でしたが、在宅勤務のおかげで、なんとか休まず仕事を続けることができました。

というわけで、しみじみと在宅勤務のありがたみを感じました。

年内に終わらせたい技術文書の翻訳はコンテックスにお任せ下さい。
初めてコンテックスをご利用頂くお客様限定のスペシャルプライスをご用意しております。

年末までに終わらせたい！！

マニュアルや仕様書の翻訳

コンテックスにお任せ下さい♪



ニュースレター限定

営業マンのコラム

『忘れていた日常』

コンテンツサービス事業部 後藤 (Mr.ベースマン)



戒厳令も解けて、先日久しぶりにカントリーの野外ライブをやってきました。詳しくは弊社 HP の社員ブログに掲載しておりますのでよろしかったらご覧ください。そこで感じたことは「何でもない日常のありがたさ」ですね。天気の良い休日の昼間に芝生で生演奏を聴きながらビールを飲んでゴロリと横になる・・・そんなこと、今までは普通にできていたことでした。昨年からの疫病騒ぎで規制されて、外出禁止・時短営業・酒類提供禁止・マスク着用などなどが日常になっている

昨今、それまで普通に享受していた自由が実は素晴らしいものだと気づかされました。「あたりまえ」というものはそれを失ったときにありがたさに気づくものなんですね。少しずつ規制されていくと、いつの間にかがんじがらめで身動きが取れなくなっていて、でも少しずつだからそれが「あたりまえ」だと感じてしまう。シフティング・ベースライン症候群という言葉があるそうです。これについても HP のブログで書いてみたいと思います。よろしかったら続きはそちらで。(笑)

コンテックス HP

下記 QR コードまたは
『技術翻訳
コンテックス』で検索！



技術翻訳と機械エンジニアリング、技術者派遣はコンテックス

株式会社コンテックス

Phone : 042-744-1080

e-mail : tsd@kontecs.com

URL : <http://www.kontecs.com>